

生活科

「それ行け！学校たんけんたい」(第1・2学年)

1 目標

学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心をもち、安全な登下校ができるようにする。

2 「法」に関する教育において育てたい児童・生徒像との関連

＜「法」に対する興味・関心＞

・学校生活にある様々なきまりや約束、登下校時における交通ルールについて興味・関心をもつ。

＜「法」に対する知識・理解＞

・学校で生活するみんなが楽しく安心して生活するために、学校にはきまりや約束があることや、登下校時における交通ルールがあることに気付く。

＜「法」に基づき社会の形成に参画する態度＞

・学校で生活するみんなが楽しく安心して生活するためのきまりや約束、安全な登下校をするための交通ルールを意識して、自分でも行動できるようにする。

3 「法」に関する教育とかかわりのある主な指導内容との関連

本単元は、小学校学習指導要領生活科の第1・2学年の内容(1)「学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことが分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心をもち、安全な登下校ができるようにする。」との関連を図って設定している。

4 指導計画(全13時間)

時	主な学習活動	主な指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連のあるもの)
①	◇学校内を歩く。 ・学校内を歩くコースを知り、学校内を全員で歩く。 ・学校内を歩いて気付いたことを発表する。	○学校内の大まかな場所をつかむことで探検の見通しをもてるようにする。
② 本 時	◇学校探検の計画を立てる。 ・学校探検をする場所やコースについて話し合う。 ・学校にあるきまりや約束について話し合う。	★学校探検をする際に、どうして学校のきまりや約束を守らなければならないのか考えるようにする。
③ ④	◇学校探検をする。 ・グループごとに行きたい場所を探検する。 ・見つけたものや人の絵をカードに描く。	★振り返りの場面で、きまりを守って探検していたかどうかについて話し合うようにする。
⑤ ⑥	◇学校探検で見つけたものや人を発表する。 ・カードを見せ合い、見つけたものや人の様子などを発表する。 ・学校の見取り図にカードを貼り、学校マップを作る。	○紹介し合うことで、「もっと探検したい」「もっと見付けたい」という思いをもてるようにする。
⑦ ⑧	◇校庭探検をする。 ・グループごとに探検し、見つけたものや人の絵をカードに描く。	○見つけたものや人の様子などについて、グループ内で情報交換する時間を設定する。
⑨	◇校庭探検で見つけたものや人を発表する。 ・カードを見せ合い、見つけたものや人の様子などを発表する。	★校庭で遊ぶときのきまりがあることに気付くことができるようにする。
⑩	◇通学路探検の計画を立てる。 ・通学路探検のコースを知り、気付いたことを発表する。 ・通学路探検をするときのきまりについて話し合う。	★交通安全教室で学んだことを想起させ、どのような交通ルールがあるか考えるように発問する。
⑪	◇通学路探検をする。 ・グループに分かれ、通学路探検をする。	○安全を守る施設や人、危険な箇所などに着目するように助言する。
⑫	◇通学路探検で見つけたものや人の様子などを紹介し合う。 ・見つけたものや人の絵をカードに描き、紹介し合う。	★交通ルールを守って探検していたかについて振り返るようにする。
⑬	◇登下校の仕方について話し合う。 ・どのようにしたら安全な登下校ができるかについて話し合う。 ・登下校についての学級の目標を決める。	★交通ルールの役割についても触れながら学級の目標を決めるようにする。

5 「法」に関する教育と関連がある本時の展開

(1) 本時のねらい (第2時)

学校生活に関する様々なきまりや約束について興味・関心をもつとともに、みんなが楽しく安心して生活するためにきまりや約束があることに気づき、それらを意識して行動しようとする。

(2) 本時の展開

学習活動と内容	指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)	評価
<p>1 前時を振り返り、学校内を歩いて気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽室で歌を歌っていた。 ・何をやる部屋か分からない所があった。 ・主事さんが仕事をしていた。 ・お兄さんやお姉さんたちは静かに勉強していた。 ・廊下を歩くときの約束が書いてある紙が貼ってあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大きな学校の見取り図を提示し、発表された所が分かるようにする。 ○施設だけではなく人の様子にも着目して発表するように助言する。 	
<p>2 学校探検の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっといろいろな所に行きたい。 ・3階に何があるか見てみたい。 ・自分たちで上手に探検できるか心配だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○探検の際に気を付けることとして、学校生活のきまりがあることを伝えるようにする。 	
<p>3 廊下を歩行するときの約束を取り上げて、どうしてそのような約束があるのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お兄さんやお姉さんたちの勉強のじやまをしてはいけない。 ・みんなに迷惑をかけるはいけない。 ・走ると転んだりぶつかったりして危ない。 ・「廊下の約束」を守って歩くことが大事だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ★学校内に貼ってある「廊下の約束」の掲示物を提示して、その役割について考えるように発問する。 	<p>【気づき】</p> <p><input type="checkbox"/>廊下を歩くときの約束の役割について気付いている。 (発言)</p>
<p>4 「廊下の約束」の他に、学校生活のきまりや約束にはどのようなものがあるのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員室に入るときも約束があるね。 ・朝、チャイムが鳴るまで、昇降口に入らないのもきまりだ。 ・だれもない教室に勝手に入ってはいけない。 ・みんなが楽しく安心して生活するために、どのきまりや約束も大切だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ★学校にはどのような生活のきまりや約束があるのか考えられるように、他の掲示物を提示する。 ★学校生活のきまりや約束の役割について考えるように発問する。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p><input type="checkbox"/>学校の生活のきまりや約束について興味をもち、進んで話し合っている。 (発言)</p>
<p>5 次時の学習内容について教師の話を聞き、思ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主事さんがどのような仕事をしているのかについて知りたい。 ・きまりや約束を守って探検したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ★「廊下を歩行するときの約束を守って探検したい」という発言があった場合は、その根拠についても発言するように促す。 	

生活科 「めざせ！公園のスーパーヒーロー」(第1・2学年)

1 目標

公園は様々な人が利用するところであることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、ルールやマナーを守り、安全に気を付けて公園を正しく利用して遊ぶことができるようにする。

2 「法」に関する教育において育てたい児童・生徒像との関連

<「法」に対する興味・関心>

- ・幼児から大人までが使う公園におけるルールやマナーについて興味・関心をもつ。

<「法」に対する知識・理解>

- ・公園では、幼児から大人まで様々な人たちが施設や遊具等を共用していることが分かり、公園を利用する人たちが安全で気持ちよく利用するためのルールやマナーがあることに気付く。

<「法」に基づき社会の形成に参画する態度>

- ・公園で遊ぶときには、みんなが安全で気持ちよく利用するためのルールやマナーを意識して、自分でも行動できるようにする。

3 「法」に関する教育とかかわりのある主な指導内容との関連

本単元は、小学校学習指導要領生活科の第1・2学年の内容(4)「公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。」との関連を図って設定している。

4 指導計画(全10時間)

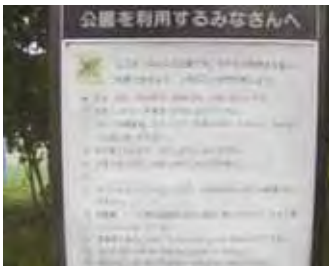
時	主な学習活動	主な指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)
①	◇家に帰ってからの遊びを紹介する。 ・近所の遊び場での遊びの様子を紹介し合う。 ・公園で、どのような施設・遊具等を使って、どのような遊びをしたいのかについて話し合う。	○公園の施設・遊具、自然の写真を提示してイメージをもつことができるようにする。
② ③	◇公園で遊ぶ。 ・公園に行き、施設・遊具等を使って遊ぶ。	○児童と共に遊びながら、公園にいる人に着目するように声を掛ける。
④	◇“公園のスーパーヒーロー”とは、どのような人なのかについて話し合う。 ・公園での遊びを振り返り、楽しかったことや困ったことについて発表する。 ・ビデオに撮った前時の遊びの様子から、“公園のスーパーヒーロー”を探し、どのような人が“公園のスーパーヒーロー”と呼ばれるかについて話し合う。	○楽しく上手に遊んでいる子供を“公園のスーパーヒーロー”と呼ぼうと提案する。 ○具体的な遊びの場面で、“公園のスーパーヒーロー”のイメージをつくり、スーパーヒーローになるための意欲を高めるようにする。
⑤ 本時	◇公園を管理している市役所の人話を聞き、“公園のスーパーヒーロー”になるために必要なことを話し合う。 ・公園を管理する人から、公園のルールやマナーについて話を聞く。 ・“公園のスーパーヒーロー”として必要なことを話し合う。	★公園のルールが書いてある看板の写真を提示して、どうしてそのようなルールが必要なのか、公園が公共の場所であるという観点から考えるように発問する。
⑥	◇“公園のスーパーヒーロー”になって遊ぶ計画を立てる。 ・4、5人でグループを作り、公園の地図を見ながら、どのような遊びをするのか、遊び方や順番について相談する。	★公園のルールやマナーを意識して遊びの計画を立てるように助言する。
⑦ ⑧	◇“公園のスーパーヒーロー”になって遊ぶ。 ・計画に沿って遊ぶ。 ・“公園のスーパーヒーロー”になれたかどうか振り返る。	★振り返りの場面で、公園のルールやマナーを守って遊んでいる様子を取り上げて紹介する。
⑨ ⑩	◇“公園のスーパーヒーロー”大集合大会を行う。 ・“公園のスーパーヒーロー”として上手に遊べた様子を紹介し合い、みんながスーパーヒーローになって遊ぶ。 ・他の公園でもスーパーヒーローになって遊べるか話し合う。	★他の公園でもルールがあることを話し、ルールやマナーを守って遊ぶことの大切さについて考えるように発問する。

5 「法」に関する教育と関連がある本時の展開

(1) 本時のねらい (第5時)

公園を利用するにあたってのルールやマナーの意義に気付き、“公園のスーパーヒーロー”になるための必要な要件を考える。

(2) 本時の展開

学習活動と内容	指導上の留意点 (★「法」に関する教育と関連があるもの)	評価
<p>1 前時を振り返り、どのような人が“公園のスーパーヒーロー”なのかについて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に優しくしてあげられる人 ・いろいろな遊びを考えられる人 ・遊びをたくさん知っている人 ・友達にゆずってあげられる人 ・他の人のことを考えてがまんでできる人 ・一緒に遊びたい人がいたら仲間に入れてあげられる人 <p>2 公園のルールが書いてある看板を見て分かったことや、どうしてそのようなルールがあるのかについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園では、ボールを使って遊んではいけない。 ・公園にある木を折ってはいけない。 ・ボールを使って遊んではいけないのは、他の人にぶつかったら危ないからだ。 ・公園は、子供からお年寄りまで、いろいろな人が使うから、迷惑にならないようにルールを守らないといけない。 <p>3 公園を管理している市役所の人から、公園を使うときのルールやマナーについて話を聞いて、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園を汚さないように、ごみは持ち帰るようにしないとけない。 ・水道を使ったら、栓をきちんとしめないといけない。 ・みんなが気持ちよく使えるように、注意しなければならないことがある。 <p>4 “公園のスーパーヒーロー”とは、どのような人か、今日の学習を踏まえて付け加えることをカードに書いて、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園のルールを守って、上手に遊ぶことができる人 ・公園を汚さないように、ごみを捨てない人 ・公園にあるブランコやシーソーなどを大切に使うことができる人 ・公園にある木や植えてある花を傷めないように大切にしている人 <p>5 次時の学習の内容について教師の話を聞く。</p>	<p>○児童の発言に合わせて、“公園のスーパーヒーロー”の要件となる項目を掲示する。</p> <p>○どうして“公園のスーパーヒーロー”の要件としたのか、その理由も説明するように指示する。</p> <p>★公園にある看板を提示して、どうしてそのようなルールが必要なのか、公園が公共の場所であるという観点から考えるように発問する。</p>  <p>★市役所の人のお話を聞く際に、なぜ、公園にはルールが必要なのかについて考えながら聞くように助言する。</p> <p>★ルールやマナーの大切さに気付き、“公園のスーパーヒーロー”としての要件に児童が加えたことを、次の公園での遊びに生かすように助言する。</p> <p>○次時では、今日学習したことを生かして、遊びの計画を立てるように投げ掛ける。</p>	<p>【気付き】</p> <p>□公園には利用するにあたってのルールやマナーがあることやその意義に気付いている。(発言)</p> <p>【思考・表現】</p> <p>□“公園のスーパーヒーロー”として、公園で遊ぶときに必要な要件について考え、表現している。(カード)</p>